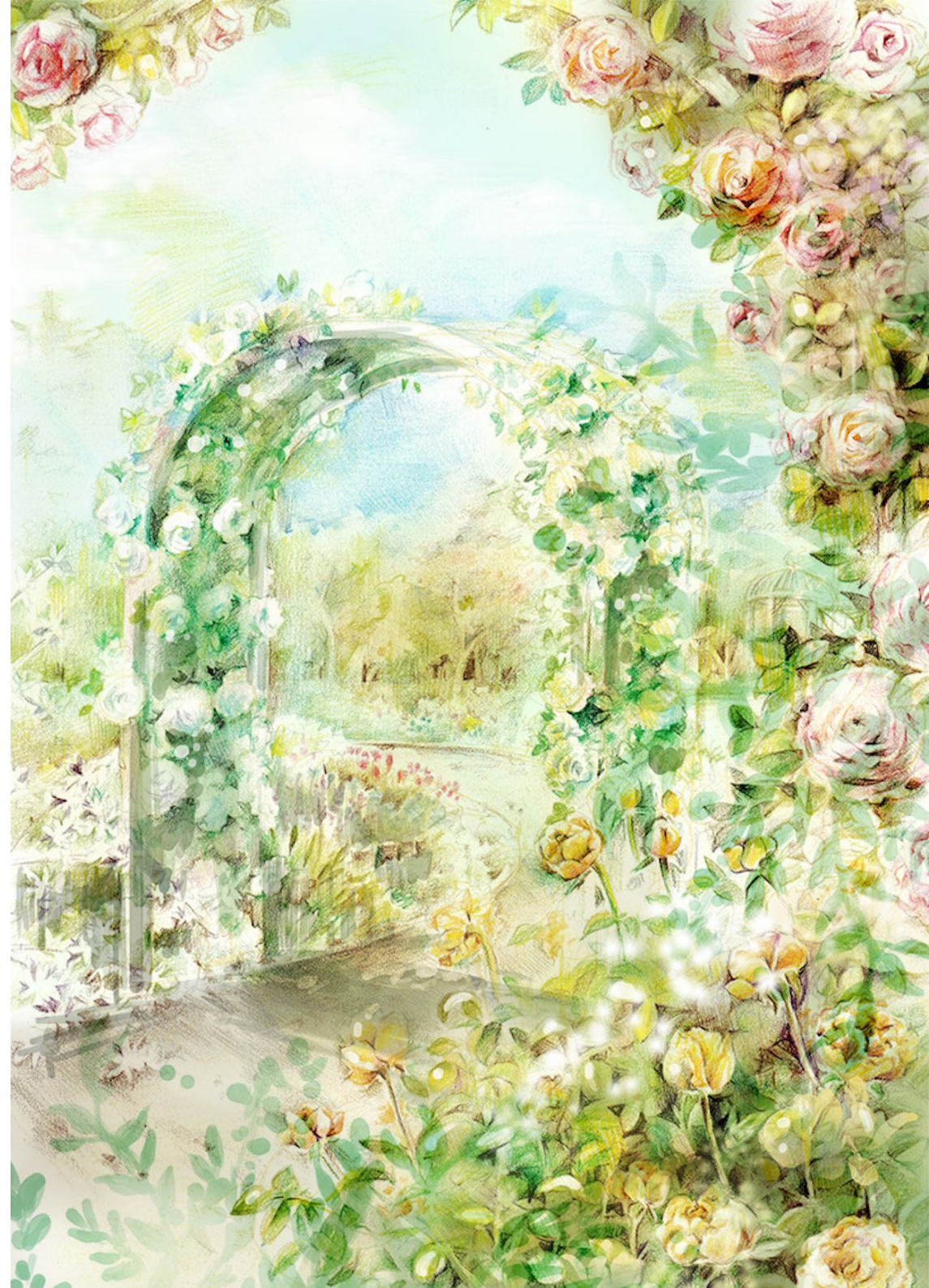


3

On the giant's property, there was a large garden where colorful flowers bloomed and the trees bore fruit in every season.

This beautiful garden happened to be the very best place for the neighborhood children to play, because the giant was away from home for a long while.

But one day, he suddenly came back after being away for a few years.



5

“What are you doing here? Who allowed you to play in my garden? Get out now!” the giant roared.

And when the children heard his bellowing voice, they became frightened and quickly ran away.

The giant got angry. And he decided to build a high wall all around his garden.

Then he put up a sign.

KEEP OUT OF THIS GARDEN, the sign said.

The next day, when the children came to play in the garden again, they saw the wall, and they read the sign, and they went back to their homes looking sad and disappointed.



むかし あるところに、おおおとこが すんでいました。

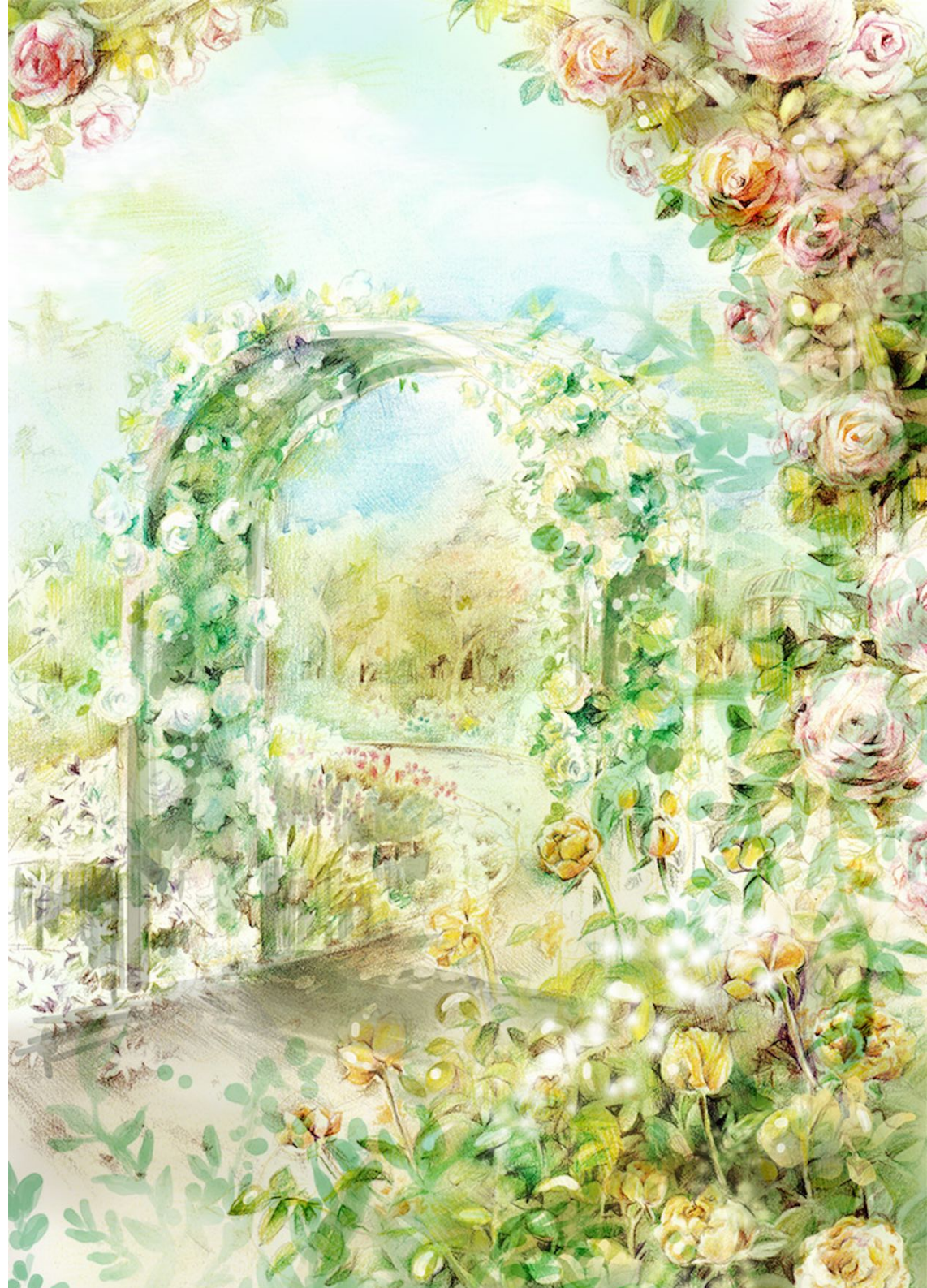
おおおとこは、らんぼうで わがままだったので、  
まわりの ひとから とても きらわれていました。

おおおとこの いえには、ひろい にわが ありました。

きせつに あわせて いろとりどりの はなが さき、  
みを むすぶ このにわは、きんじょの こどもたちの  
ぜっこうの あそびばに なっていました。

と いうのも、おおおとこは ながいあいだ、  
いえを るすにしていたのです。

ところが あるひ、すうねんぶりに おおおとこが  
いえに かえってきました。



「なんだ おまえたちは！だれが おれの にわで  
あそんでいいと いった。とっとと でていけ！」

おおおとこが どなると、あそんでいた こどもたちは  
おどろいて、あわてて にげていきました。

おこった おおおとこは、  
さらに にわを ぐるりと かこむように、  
たかい へいを つくりました。

そして そのへいの まえに、たてふだを たてました。

『この にわに だれも はいってはならない』

たてふだには、そう かいてありました。

つぎの ひも こどもたちは にわに やってきましたが、  
へいと たてふだを みて、  
がっかりした かおで かえっていきました。

